

2020年11月4日

株式会社フジトランス コーポレーション

各 位


西浜コンテナヤード設備刷新で機能を強化

株式会社フジトランス コーポレーション（本社：名古屋市港区、代表取締役社長：系井辰夫）は、飛島ふ頭で2017年より整備を進めてきた西浜コンテナヤードの本格運用を2020年11月より開始しました。

西浜コンテナヤードは2000年から稼働しておりましたが、コンテナチェックゲート、事務所の老朽化と貨物量の増加に対応するため、ゲートと一体化した事務所に建て替えました。ゲートレーン数を増加し、照明設備を増強することで、コンテナチェック作業品質の向上を図ると共に、レーン間に歩行者用アイランドを設け、より安全性も向上させました。南海トラフ地震による津波に備えて、建屋屋上に避難場所を設けました。

保税エリア（約17,763㎡）では、外貨・内貨の実入りコンテナの保管も可能で、CYオープン前の輸出コンテナやCYフリータイム切れ輸入コンテナの一時保管にも対応可能です。その他、冷凍コンテナ用電源設備やコンテナ洗浄設備も備えています。お客さまのさまざまなニーズに応えるべく、今後もより一層のサービス提供を行ってまいります。

施設概要

名 称	西浜コンテナヤード	
所 在 地	愛知県海部郡飛島村西浜 27	
敷 地 面 積	72,054 ㎡	
保 管 能 力	空コンテナ 3,013 本、実入りコンテナ 580 本(20'コンテナ換算)	
設 備	チェックゲートレーン 7 箇所、冷凍コンテナ電源 10 箇所 コンテナ洗浄設備 2 基、トップリフト 6 機、 ストラドルキャリア 2 機	

ニュースリリースに掲載されている情報（事業内容、お問い合わせ先など）は、発表日現在の情報です。予告なしに変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。